

Information 1

地域医療連携における造影剤の副作用発生予防への取り組み

放射線センター センター長 門澤 秀一

最近、地域医療の先生方から造影CTや造影MRI検査の依頼が増えてきています。これらの検査で使用される造影剤には副作用の発生が一定の頻度でみられ、気管支喘息や過去に造影剤の副作用がみられた患者さんには重篤な副作用が起りやすくなることが知られており、これらの場合には造影剤投与は禁忌となっています。

当院では、これまで地域医療の先生方から紹介された患者さんについては、放射線診断科で検査当日に問診し同意書を取得していましたが、問診後に副作用に対して不安になり検査を拒否される事例や、気管支喘息や造影剤副作用の既往が判明し検査が中止となる事例が散見されるようになってきました。ま

た、昨年造影剤腎症の予防を目的として腎障害患者におけるガイドラインが策定され、検査前に腎機能の評価が求められるようになってきました。

このような状況をふまえ、患者サービス向上や医療事故防止の観点から、当院では造影CTや造影MRI検査の依頼をお受けする場合には、地域の主治医の先生方に問診と同意書の取得ならびに血清クレアチニン値の計測をしていただくように手続きを改めました。

先生方には新たな負担をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは地域医療連携室や放射線診断科までお問い合わせください。

Information 2

新入職医師のご紹介

Information 3

講演会のご案内

■ 神鋼糖尿病セミナー

- 日 時：平成25年8月8日（木）18時30分～20時00分
- 場 所：呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室
- 講 演：『シタグリブチンとインスリンとの併用症例における安全性と有効性の検討』
講師：神鋼病院糖尿病代謝内科 科長 竹田 章彦
- 特別講演：『開業医にもできる外来インスリン療法』
座長：神鋼病院 糖尿病代謝内科 科長 竹田 章彦
(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
講師：河原医院 院長 河原 啓 先生
- その他：日本医師会生涯教育認定講座1.5単位
お弁当をご用意させていただいております
- お問い合わせ先：神鋼病院地域医療連携室 TEL：078-261-6739

冠動脈造影CTの導入にあたって

冠動脈造影CTの導入にあたって

冠動脈（心臓を囲んでいる動脈で、心臓の筋肉に酸素を供給する動脈）の血流が何らかの原因で悪くなってしまう病気を虚血性心疾患と呼びます。心筋梗塞や狭心症が代表的な疾患であり、命にかかわる病気であるため、早期の診断が求められます。

この診断には心臓カテーテル検査が一般的に行われてきました。手足の動脈からカテーテルを挿入し、冠動脈内に直接造影剤を注入して冠動脈の血流の状態を映し出す方法です。機材の進歩に伴い、簡便かつ安全になったとはいえ、検査には入院が必要で、動脈にカテーテルを入れる際に血管を傷つける可能性や、塞栓症などの合併症を引き起こす可能性も0.2%~0.3%ほどあるとされています。

この冠動脈造影検査に代わる方法として注目されているのが、冠動脈造影CTによる検査です。近年急速な広がりを見せており、神鋼病院でも320列マルチスライス

- ・冠動脈造影CTの導入にあたって
- ・開業医探訪「橋村クリニック」
- ・インフォメーション
 - ・地域医療連携における造影剤の副作用予防への取り組み
 - ・新入職医師のご紹介
 - ・講演会のご案内

■ 神鋼病院理念
地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

■ 基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL：078-261-6711（代表）
FAX：078-261-6726
URL：http://www.shinkohp.or.jp/
発行責任者：病院長 山本 正之
編集責任者：神鋼病院広報委員長 山神 和彦

CT「Aquilion One VISION Edition」（東芝メディカルシステムズ社製）という最新機種が、本年5月より

患者さんにやさしい診断方法

心臓に病気を持つている可能性のある患者さんは毎日たくさん来院されます。タバコを吸う方、糖尿病や高血圧がある方、コレステロール値の高い方、胸が苦しいとおっしゃる方。そういう患者さんに、本当に心臓に病気があるのかないのかを、なるべく早く簡単に、負担の少ない方法で見たいと常々思っていました。

今回、当院で導入された最新機

種である320列マルチスライスCTは、心臓全体を1回転するだけ（最短0.275秒）で、冠動脈全体を一度に見ることが出来る機械です。従来の4列マルチスライスCTと比較して、速さや被ばく量が大きく改良され、5秒ほどの息止めで冠動脈内腔と血管壁が可視化されるため、「患者さんの身体への影響が少ない診断」と「疾患の早期発見」が可能になりました。



Kenji Kaihotsu

循環器内科 医長

かいほつ

開発 謙次

平成9年卒に愛知医科大学を卒業。2013年4月神鋼病院に着任し、虚血性心疾患を中心に治療。日本内科学会認定医、日本循環器病学会専門医、日本心血管インターベンション学会認定医、ICD・CRT認定医などの資格を持つ。

時間、被爆が大幅に改善

冠動脈CT検査では、保険適用（3割負担）で約1万円程度。入院も不要で、検査そのものにかかる時間はほんの数秒。前後の検査や処置等をあわせても1時間ほどで完了します。被爆量は検査の種類などによっても異なりますが、およそ3ミリシーベルト程度で、冠動脈造影検査の3分の1未満です。さらには、造影剤の注入量も約40ミリリットルと、これも冠動脈造

影検査と同等もしくは少なく済みます。

これまででは、冠動脈に問題がある可能性があつても、入院が必要で、合併症のリスクもあるため、冠動脈造影検査をするには躊躇することがありました。しかし、冠動脈造影CTなら患者さんに負担をかけず、すぐに調べることができます。また、糖尿病や高脂血症の患者さんなど冠動脈危険因

子を有している患者さんには動脈硬化がより起こりやすい傾向があります。この冠動脈造影CTによってそういう疾患も早いうちに発見できる可能性があります。

また、この検査における陰性的中率（検査結果が陰性である場合に病気がない確率）は99%と非常に高く、冠動脈造影CTの結果、冠動脈に動脈硬化や狭窄病変を認めない場合には、安心して病気の可能性がないことをお伝えすることができます。

患者さん個々に応じた治療を

マルチスライスCTの導入により、血管の形態だけでなく、動脈硬化の質や程度、進行具合も評価できるようになりました。それに伴い、例えばカテーテル治療や手術が必要でない方であっても、動脈硬化があれば、より厳格な脂質糖代謝の管理や、生活食事指導を行うことができるようになりました。

一方、カテーテル治療などが必要になった方においても、おおよその病変の形状を評価することにより、事前に治療方針が立てやすく、治療をより安全にスムーズに

行えるようになり、起こりうる危険を予測し、合併症を減らすことも可能になると思われま

す。このように実際に画像を見ることにより、患者さん自身が病気を理解し、治療モチベーションを高める効果も期待できます。ただ説明を聞いたりのと、実際にご自身の血管の状態を目で確認するのでは、患者さんの受けるインパクトが違います。自覚症状がない場合でも、きちんと薬を飲んだり食事

に気をつけようという意欲を持つてもらいやすくなります。

心臓から全身のスクリーニングへ

近年提唱されているアテローム血栓症（A.T.I.S.・エイテイス）は、動脈硬化の進展に伴い、プラーク（動脈硬化巣）が破裂し血栓をつ

くり血管を塞いでしまう疾患の総称であり、すなわちこの状態が、①心臓の冠動脈に起これば、心筋梗塞や狭心症、②脳の動脈に起これば脳梗塞や一過性脳虚血発作、③足の動脈で起これば下肢（末梢）動脈閉塞症や間歇性跛行（歩くと足の筋肉に行く血流が少

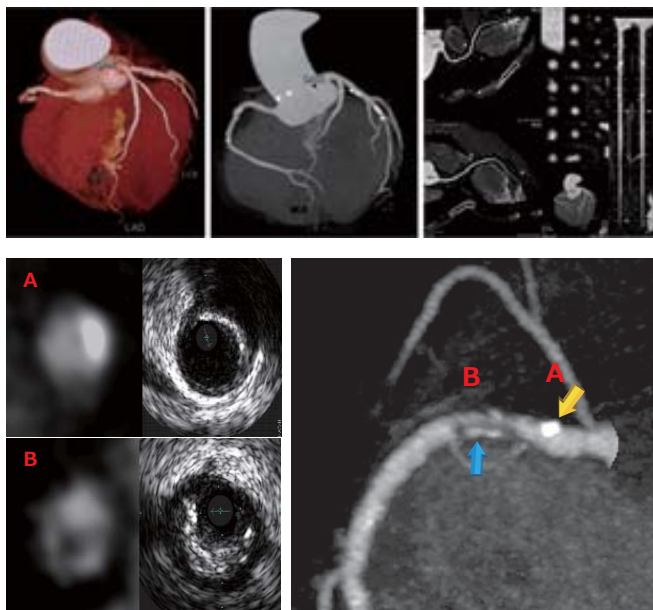
なくなり痛みが出て、休むと改善する状態）となるわけです。

320列マルチスライスCTは心臓のみならず、全身のスクリーニングにも有用であり、冠動脈、下肢動脈を評価できるようになっただけでなく、難治性高血圧の原因である腎動脈狭窄や、無症状で発見困難な胸腹部大動脈瘤を一度に検出できるようになりました。

神鋼病院循環器内科では、カテーテル治療だけでなく、血管の病

気の進展予防にも力を入れ、1次予防、2次予防に努めております。冠動脈CTは循環器外来で随時受け付けておりますのでいつでもご相談いただけます。

また、造影CTを用いた血管のスクリーニングだけでなく、心臓核医学検査や超音波検査など、さまざまなツールを用いて患者さん個々に応じた検査、治療を心がけ、必要な方に必要な治療を提示し、神鋼病院に通院される患者さんの健康を守るよう日々努めてまいります。



冠動脈造影CT画像および血管内超音波との比較



上段左から 吉岡専修医・北医長・津田医師・熊谷研修医
下段左から 開発医長・岩橋部長・新井医長

開業医探訪 Inquires into a doctor

橋村クリニック [放射線診断科・呼吸器内科]



診療を開始されてどれくらいになりますか？

平成10年2月に開業し、今年で15年目になりました。

どのような患者さんが来院されますか？

内科疾患の患者さんが多いです。午前中は近くにお住いのご年配の方や主婦の方が、午後は会社帰りの方が来られます。また、CTを設置し放射線科専門医であることから、地域の先生方から画像診断の依頼も受けています。

診療にあたり心掛けていることは？

「清潔で、明るく」を第一にクリニック作りを行っています。そのうえで、どんなところでも気軽に話し頂けるような雰囲気作りを目指して、診療しております。

カギ

この周辺は各科専門の開業医の先生方が多くおられ、「診療連携」が盛んに行われています。連携もスムーズで、地域全体で大きな病院を形成しているように感じています。今後もこの関係を大事にし、また神鋼病院をはじめ各病院との連携も密にすることによって、地域の患者さんに最適な医療を提供できるように努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



橋村クリニック

- 神戸市灘区永手町3丁目2-17
- TEL : 078-822-8088
- 診療科：放射線診断科・呼吸器内科
- 休診日：日曜・祝祭日・木・土曜午後
- 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×